

ご関係の皆様には大変お世話になっております。
工事の現況などについてお知らせいたします。
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

発行元：鹿島・東亜特定建設工事共同企業体
気仙沼湾横断橋小々汐JV工事事務所
TEL:0226-25-5661 FAX:0226-24-3341



※現場見学をご希望の方は上記連絡先までご連絡下さい(担当:小室)

工事現況

鋼管内コンクリートを打設しています。

鋼管矢板91本の打設閉合完了を経て、5月25日からコンクリートミキサー船「第十七神昭」が工事区域に入港し、鋼管内にコンクリートを打設する作業を行っております。6月15日現在で、91本中61本のコンクリートを打設完了しており、6月中に全ての鋼管内の打設が完了する予定です。

鋼管内コンクリート打設完了後は、鋼管矢板の継手処理を行い、締め切られた中を水中掘削していきます。

引き続き、航行船舶の安全確保と海の環境保全を最優先に作業して参りますので、ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



鋼管内コンクリート打設状況 (平成28年6月7日撮影)

今月の一品

～コンクリートミキサー船『第十七神昭』～



コンクリートミキサー船は海上でコンクリートを打設する作業船のことで、当工事で活躍している「第十七神昭」は長さ60m、幅22m、高さ26mと、国内最大級(!)のコンクリートミキサー船です。神戸港から千葉県館山港を経由し、気仙沼湾に入港しました。

この船は、コンクリートの原料である、砂利1200t、砂810t、セメント500t、水500tを貯蔵でき、船の重量を含めると総重量4500tにもなります!

近くから見るとその大きさに圧倒されますが、実は気仙沼湾横断橋が完成すると、海面から橋げたの高さが32m(!)あるので、こんな大きな船でもくぐらせてしまいます。

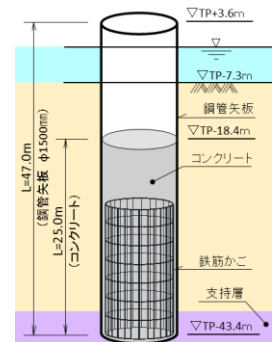
現場付近にお立ち寄りの際は是非、作業船と完成後の気仙沼湾横断橋の大きさを想像してみてくださいね!

コラム

どうして鋼管内にコンクリートを打設するの?

鋼管矢板井筒の鋼管は、次の二つの目的のために、強度を備えている必要があります。

- ①橋脚を支える杭として
 - ②橋脚を作るまでの遮水壁として
- 小々汐地区下部工工事では、この二つの目的を果たすために、鋼管内部に鉄筋を設置し、コンクリートを打設することで、より強い構造としています。



トピック

鹿島たんぼぼ活動実施!



平成28年6月8日(水)に女性ならではの、「きめ細かい目線」で工事現場の危険の芽を摘み取るとともに、作業環境改善を図るため、鹿島建設㈱の女性社員3名による現場パトロールを実施致しました。

鹿島では、女性の目線を現場に活かす活動を「鹿島たんぼぼ活動」と銘打ち、すべての人にとって働きやすい環境を目指しています。

工事の予定

年月日	平成28年											
	6月				7月				8月			
作業内容												
鋼管矢板基礎工												
先頭・増強・中継コンクリート打設												
継手処理工 排土・モルタル充填												
井筒内掘削工 掘削・掃土・運搬・仮置												
備考												

現場HP更新!



クールでおもしろい仕事
おもしろ物語 @ 工事現場